

へいわこども通信



へいわこどもクリニック

〒760-0073高松市栗林町1丁目4-11
TEL:087-835-2026/FAX:087-835-2027
<http://kagawa.coop/kodomo/index.html>



病児保育 はとぼっぼ

直通電話:087-835-2065
受付時間:月~金曜日 8時~18時/土曜日 8時~12時

2015年 冬号



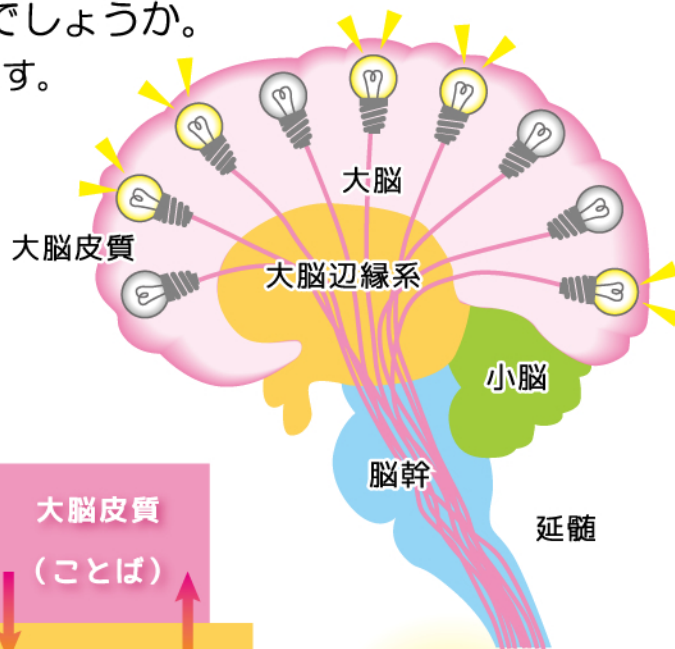
ことばを育てる暮らし

ことばはどのように発達するのでしょうか。
「脳のはたらき」がとても大事となります。

ことばを直接つかさどるのは「**大脳皮質**」です。そのほかに「**脳幹**」「**大脳辺縁系**」という部位があります。

「**大脳皮質**」にはたくさんの小さな豆電球がきっちり並んでいて、「**脳幹**」「**大脳辺縁系**」では豆電球とつながる電線が走っています。その電線は脳からはじまり、体のすみずみまで配線されています。

つまり、ことばが発達する上で配線となる「**脳幹**」や「**大脳辺縁系**」の働きが整っていることが必要となります。



考える脳

感じる脳
本能・情動

生命の中核

大脳皮質
(ことば)

大脳辺縁系
(こころの脳)

脳幹
(からだの脳)

からだの各部

帯状回—やる気を起こす
海馬—記憶のコントロール
扁桃体—本能的な価値判断

視床
視床下部 } 睡眠リズム
中脳 } 体温や呼吸の調節
橋 } ホルモン分泌
延髄 } 筋肉運動の調節
など

ことばを育てるためには「**大脳がちゃんととはたらくようにすること**」そして「**大脳につながっている脳の各部分の電線の中の情報が通りやすくすること**」です。

「脳幹」や「大脳辺縁系」の働きを整える暮らしをしましょう。



からだの脳

「脳幹」は「からだの脳」

と言われ、自律神経や反射、呼吸や体温調節など「生きる」ことに関わる仕事全部を統括している場所です。脳幹部の働きをスムーズにするために必要なのは、「生活リズムを整えること」「体を十分に動かすこと」です。

「寝る子は育つ」や「早寝早起き丈夫な子」とことわざであるように睡眠には成長ホルモンの一種であるメラトニンが分泌されるので、睡眠は重要です。

「体を十分動かす」上で子どもが好む遊び、子どもが求める遊びをたくさんしてあげることが、脳の働きを活性化し、発達を促進させることにつながります。



あそび

生活の中で取り入れたい遊びをいくつか紹介します。

- ①ぐるぐる回転する遊び
- ②滑り台や自転車のように加速が加わる遊び
- ③ブランコやハンモックの揺れの遊び
- ④トランポリンのような上下運動の遊び
- ⑤乾布摩擦やくすぐり遊びのような触覚からの入力遊び



大人が関わってあげて楽しく一緒に遊ぶ経験を広げることが、人との関係を広げ、ことばを使う気持ちを育ててゆくために必要となります。また、子どもが求める時期に、十分な刺激を遊びの中で与えてあげることが大事となります。そして、もう一つ「手は突き出した大腦である」と言われるように、手は握ったり、つまんだり、投げたりする時に使う運動器官です。同時に手探りや手応えを感じたりする感覚器官でもあります。体を十分動かすことや、上手に使えるような働きかけや生活が大事です。

こころの脳

「大脳辺縁系」は「こころの脳」と言われ、本能や情動にかかわる場所です。

「好きこそものの上手なれ」と言われるように、好きなことをやっている時は面白いし、意欲ややる気がどんどん出て、無理しなくても覚えられるし、上達も早いものです。面白いことをする時間、一緒にいると楽しいと思える人と一緒に過ごす時間、そういう時間を作ることによって、大脳辺縁系の部分での電線の通りが良くなれば、情報も大脳まで届きやすくなり、ことばの学習も進むこととなります。



ことば

ことばがわかる

構音器官の訓練

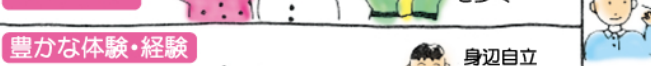


ことばを教える



実物にことばをそえる 経験にことばをそえる 理解をすすめる

ことばでわかり合う



豊かな体験・経験



楽しく遊ぶ



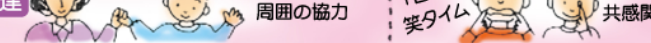
5F▶

手を使う



3F▶

情緒の発達



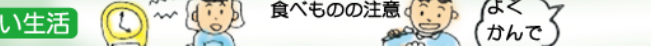
2F▶

体の発達にそった十分な運動



1F▶

規則正しい生活



ことばのビル

ことばはビルのように下から順々に積み上がっていく構造をしているので、1階からいねいに積み上げていきましょう。

「ことばのビル」は1階は「規則正しい生活」、2階は「体の発達にそった十分な運動」3階は「情緒の発達」「楽しく遊ぶ」です。4階は「手を使う」です。5階以上は「ことば」です。

ことばのみに注目するのではなく、ことばが獲得するまでにたくさんのことを子どもは学んでいます。生活の中で「こんなことができるようになった」「ここまでは出来るけど、まだ完全には出来ない、あともう少し」というような一つ一つの積み重ねです。たくさんのことを経験することは子どもにとって財産になります。たくさん遊び、たくさんの人と関わることが大事となります。

タッチカウンセリング®体験

現在、第9期体験の開催中、
第10期メンバーの募集中です。

9期にはH25年12月生まれ～H26年6月生まれの子どもとその母親が参加しています。

ところで、最近予防接種などで以前タッチカウンセリング®体験に参加した親子に再開することが増えました。

親子の成長した姿を見られてうれしいのですが、さらに多くの母親たちが、「〇期メンバーで(または、〇〇ちゃん)遊んだのですよ」と笑顔で話してくれることにも大きな喜びを感じます。「この機会を作ってよかった。」そう思える瞬間です。



次回
予告

2015.1.8～
第10期体験

(全5回事前の
お申込みが必要です)

澤田 記

コトロハイキング



大麻山にいきました

肥満Gでは肥満解消、悪化の予防を目的とした活動をおこなっています。

活動内容は主に2か月に1回のペースでハイキングです。今年の例を挙げると国立公園 寒霞渓、金毘羅宮の奥にある大麻山などに登りました。なかなかハードな道もあり大人でもしんどいと感じてしまうことも多々ありますが良い運動にはなりますよ(^_^)

参加は基本的には誰でもOKです(^o^参加者が大きく変わることはないので学校以外でもお友達ができて良いですよ～(*^_^*)

その他には肥満症の子供たち、略して「コトロ」の子には定期的に来院していただいて腹筋等の簡単な運動や診察での管理をさせていただいております。気になる方は是非当院までご連絡ください(^o^)

徳山 記



発達グループ

芋ほりへ行ってきました

11月2日に県内の農園に芋ほりに行ってきました。雨が時折パラパラと降るようなお天気でしたが、みんなで作業する時間はどうにか天気もち、無事に芋ほりや芋ばんでの製作、散歩を楽しむことができました。

発達グループでは、春は「山登り」夏は「海や川での合宿」秋は「芋ほり」冬は「雪遊び」など、季節に合わせた行事を企画しています。

最近は色々な物が発達し、夏は涼しく冬暖かに過ごせ、室内で遊ぶための十分なおもちゃもあり、とても便利な生活を送ることができます。ですが、自然の中でその時期にしかない空気を感じたり風景を見たりすることも子どもさんにとってはとっても良い経験になります。

遠出したり宿泊したりというのはなかなか大変だとは思いますが、落ち葉を拾って製作をしたり、散歩しながら周りの風景を見るなど、生活の中に自然を感じられる遊びをぜひみなさんのご家庭でも取り入れてみてはいかがでしょうか？

宮川 記

アレルギーグループ

スキンケアノートに続き、喘息ノートを作成しましたので、ご紹介します。

◆スキンケアノートは、アトピー性皮膚炎で長期にわたりスキンケアを必要としている方にお渡ししています。時々の肌の状態を記録してもらい、定期診察時に医師に伝えるツールとして使用できます。記録することで、軟膏や保湿剤の使用状況がわかります。また、冬場が悪化しやすい、とか汗をかいた後が要注意かな、などと気付けるかもしれません。

◆喘息ノートも、喘息を長期にわたりコントロールしている方にお渡しできればと作成しました。来院が1ヶ月に一度といった方が多いですので、1ヶ月間の喘息の状況を記録してきて頂きます。何月何日に発作が出たので吸入しました、とか、咳が出ていたのでお薬を追加しましたなど、記載していただくことで1ヶ月間のコントロール状況を知ることが出来ます。



どちらも希望者に配布
していますので、お気軽
にお尋ね下さい。

中村 記

～よくある病気のおはなし～

溶連菌感染症

溶連菌とは、正しくは溶血性連鎖球菌という名前の細菌で、溶連菌感染症は、この菌に感染して起こる病気の総称です。

最も多いのは扁桃炎(のどの感染症)です。38～39℃の高熱が出て、体がだるく、急にのどが痛くなります。熱が出ない場合もあります。頭痛、腹痛、嘔吐などを伴うこともあります。舌の表面が赤くイチゴのようになるのも特徴の一つです。全身に赤くて小さい発疹が出て、その後、皮膚がぼろぼろとむけることもあります。猩紅熱(しょうこうねつ)と呼ばれることもあります



検査と治療

検査は、のどの壁を綿棒でこすって、菌があるかどうか調べます。10分で判定できなす。

溶連菌が確認されたら、抗生物質(抗菌薬)で治療を行います。抗生物質を10日間服薬します。家族間の感染も多く、親兄弟も検査をしましょう。

腎炎の発症が無いことを確認するために、尿の検査を2週間後と4週間後の2回します。



家庭で注意することは?

飛沫感染です。薬を勝手にやめないことが、最も大切な注意点です。

のどに痛みがあり食欲がないときは、熱いものや硬いもの、刺激の強いものを避けて、食べやすいもの、のどごしのよいもので、水分や栄養を補給しましょう。

お休みするのはいつまで?

1日分服薬すると感染力はなくなりますので、発熱がなければ1日のお休みで登園・登校は可能です。



乳児・幼児健診の すすめ

母子手帳をみると、1ヵ月ごとの成長の記録を書くページがあります。健診をするとその月齢での発達の状況がわかります。何か気になることがあった時は訓練や相談を受けられ、定期的に発達を確認しながら成長を見守ることができます。



おすすめの
時期は
・3～4ヵ月
・9～10ヵ月
・1歳・2歳

市が実施する1歳半・3歳健診と同様に、大切な節目にぜひ健診を受けましょう

第1回へいわこどもクリニック 写真コンテスト募集!!

募集テーマ「笑顔」 お子さんの魅力・何気ない仕草のなかに生まれる笑顔を募集します。

募集期間 平成26年12月1日(月)～
平成27年1月31日(土)正午 締切。

審査発表・応募作品展示

・応募された写真を、主催側でA4～A3程度に引き伸ばし、へいわこどもクリニックにて展示いたします。(その際、作品タイトル、(あれば)コメント・エピソードも併せて掲示させていただきます。)

展示期間 平成26年3月2日(月)～20日(金)
・応募枚数によっては作品の入れ替えを行う場合もあります。

応募についてはへいわこどもクリニックHPを確認してください。
<http://kagawa.coop/kodomo/index.html>

小学生 外来医療費 無料化 実現

今春から、高松市では、小学卒業までの外来窓口医療費負担がなくなります。医療費を気にせず、子どもの病気を治したいという多くの市民の声が8000筆の署名に結実し、反映された結果です。消費税の導入、物価の値上がり、実質賃金の低下など、子育て世代にとって、教育費とともに医療費は大きな負担です。今後も、中学卒業までの無料化にむけて署名活動に協力していきます。ご協力をお願いします。



へいわこどもクリニック 中田耕次